

2016年9月21日

株式会社リクルート住まいカンパニー

不動産・住宅に関する総合情報サイト『SUUMO』 子ども2人以上のママ、家の中の不満NO1はどこ？

株式会社リクルート住まいカンパニー（本社：東京都中央区 代表取締役社長：野口孝広）が運営する不動産・住宅サイト『SUUMO（スーモ）』は、地域の子育てネットワークを推進する『AsMama』（アズママ）（本社：神奈川県横浜市）と共同で、2人以上の子どもを育てるママたちに「多子世帯における住まいへの『不』とその解決策」（※）というテーマで、アンケートを実施。その調査結果をまとめましたのでお知らせします。※子どもが2人以上いる世帯を「多子世帯」としています

■2人以上の子どもを育てるママの8割以上が、家の悩みアリと回答！

「子どもは2人以上欲しい」と望む夫婦は多いといえども、出生率の数字などを見ると、現実にはさまざまな事情で断念しているよう。では、「住まい」の面において子どもを2人、3人と育てるには、どんなハードルが存在するのだろうか。

Q 不満を抱えている箇所（複数回答）

1位	家全体の広さ	49.6%
2位	リビングダイニングの広さ	43.0%
3位	家全体の部屋数	42.1%
4位	家全体の収納	35.5%
5位	キッチンの広さ	29.8%

※上位5位まで表示

「2人目以降の出産を考えたときに、家について悩んだことがありますか？」と質問。するとなんと86.0%にあたる人が、「悩んだことがある」と回答した。

悩みの上位にランクインするのが「家全体の広さ」「リビングダイニングの広さ」「部屋数」といった、「広さ」に関するもの。とにもかくにも「広さ」に関する不満が見てとれる。確かに子どもは1人いるだけで、おもちゃ、衣類、幼稚園・保育園、習い事関係のグッズ、季節の行事で使うものなど、種類や性格の違うものが加速度的に増えて混在するため、片付けに苦労する人は多い。

とはいえ、家選びの重視項目の1位は「立地」で47.9%の人が回答、2位は「家の広さ」で30.6%だった。

夫婦共働きが一般的になってきた今、立地も広さもこだわりたいというニーズは高いが、一方で予算の制約もあるのが現実。最近では、自分で動かすことができる収納家具で間取りを変更できたり、部屋の中に移動可能な小屋が置けたりできるなど、既存の○LDKにとらわれない住まいも登場しており、こうした柔軟な間取りのマンションが増えると、2人、3人と子どもを育てるハードルも少しは低くなるのかもしれない。

リクルート住まいカンパニーはこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けていきます。

【本件に関するメディア掲載・取材に関するお問い合わせ先】
株式会社リクルート住まいカンパニー 企画統括室 統括部 カンパニー・コミュニケーショングループ
メール：sumai_press@r.recruit.co.jp 電話：03-6835-5290

調査概要

【多子世帯における住まいへの『不』とその解決策】より

- ・調査期間：2016年3月7日～3月22日
- ・調査方法：対面実地調査およびインターネット調査
- ・対象：関東地方で集合住宅（アパート／賃貸マンション／分譲マンション）に住んでいる女性（子どもの人数2人以上）
- ・有効回答数：121名

▼子ども2人以上のママ、不機嫌のモトは住まい？ その解決策は？

<http://suumo.jp/journal/2016/09/21/118017/>

▼不動産・住宅サイト『SUUMO（スーモ）』はこちら

<http://suumo.jp/>

▼リクルート住まいカンパニーについて

<http://www.recruit-sumai.co.jp/>

▼AsMama（アズママ）について

<http://asmama.jp/>

リクルート住まいカンパニーはこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けていきます。

【本件に関するメディア掲載・取材に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルート住まいカンパニー 企画統括室 統括部 カンパニー・コミュニケーショングループ
メール：sumai_press@r.recruit.co.jp 電話：03-6835-5290